

令和6年4月18日

海事局船舶産業課

船舶産業の省人化・効率化を図る事業7件への支援を決定しました ～デジタルデータを活用して業務の刷新を図る技術の開発・実証事業を支援～

国土交通省は、船舶産業の省人化・効率化を図るため、デジタルデータを活用して業務の刷新を図る技術（バーチャル・エンジニアリング技術）の開発・実証事業を7件採択しました。

船舶産業においては、国際競争が激しさを増す中、今後、カーボンニュートラル船をはじめとする多様な次世代船舶への対応が求められます。一方で、日本国内では、人口減少に伴う人手不足の深刻化が見込まれています。我が国の船舶産業がこうした社会変化に対応していくためには、複雑な船舶を少ない人手で効率よく建造するための体制の構築が必要です。

こうした背景を踏まえ、国土交通省は、船舶・船用機器の製造等の抜本的な効率化を目的として、バーチャル空間に蓄積されたデジタルデータを有効に活用して業務の刷新を図る技術の開発・実証を行う事業を補助することとしました。今般、令和5年12月18日から令和6年2月9日まで募集を行い、外部有識者による事業評価を経て、7件の事業を採択することを決定したのでお知らせします。

バーチャル・エンジニアリング補助金 採択事業一覧

事業者名（五十音順）	事業の名称
川崎重工業(株)	造船業における IoH インターフェイスの構築
ジャパンマリンユナイテッド(株)	生成 AI による新造船検討の高速化 ：造船計画業務効率化と生産期間短縮へのアプローチ
(株)新来島どっく	内業・組立の工事量平準化シミュレーションシステム構築
日本シップヤード(株) (一財)日本海事協会 NAPA Japan(株)	構造強度解析自動評価システムを通じた 3D 設計・承認システムの構築
檜垣造船(株)	建造現場における生産プロセスを効率的に管理する生産管理システムの開発・実証
(株)FRONT MISSION	船舶の設計工程におけるゲームエンジンの活用・実証
真鍋造機(株)	クラウド型自動化プラットフォームの技術開発

<添付資料>

別添1：バーチャル・エンジニアリング補助金の概要

別添2：採択事業の概要



<お問合せ先>

海事局 船舶産業課 高木・鍵山

(代表) 03-5253-8111 (内線) 43-644、43-648

(直通) 03-5253-8634 (メール) hqt-mb-ssmd-dxt@gxb.mlit.go.jp